

近代英語協会ニュースレター

2024年(令和6年)12月27日

近代英語協会事務局分室

〒154-8513 東京都世田谷区下馬 3-34-1

日本大学スポーツ科学部 秋葉研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/html>

電話: 03-6453-1714

年会費振替口座 00810-9-5821

1 第42回大会について

次回大会は、2025年6月28日(土)(予定)、名古屋大学(愛知県名古屋市)において開催いたします。なお、詳細は決まり次第、メーリングリストおよびホームページにてお知らせいたします。

個人研究発表の締め切りは 2025年1月31日(金) です。発表をご希望の方は、(a) 発表題目と400字程度の要旨、(b) 氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)・**大会発表助成金希望の有無(※参照)**を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でご応募ください。様式は、協会ホームページにあります。なお、本協会の趣旨により、発表内容は近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資するものとしてください。

(ア) 電子メールによる応募

- ・ (a) 特殊文字を使用される場合はMSWord文書、及びそのPDFファイルを添付
- ・ (b) 特殊文字を使用されない場合はMSWord文書のみを添付

宛先 akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp

(イ) 郵送による応募

- ・ (ア) の (a) または (b) のいずれかを記憶したCD-R
- ・ 打ち出し原稿

宛先 〒154-8513 東京都世田谷区下馬 3-34-1

日本大学スポーツ科学部競技スポーツ学科

秋葉倫史研究室内 近代英語協会事務局分室

※ 大会発表助成金制度について

本協会では、大会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に大会発表を奨励するため、大会発表助成金制度を設けております。助成対象者は、発表を行う大学院生・常勤職のない会員(発表を行う年の4月1日時点で37歳以下または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者)といたします。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費(往復)とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙(発表応募時に希望を明記)に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。多くの発表の応募をお待ちしております。

第41回大会では、Googleフォームにて、大会・懇親会への出欠をお知らせいただきました。ご協力いただきありがとうございました。次回、第42回大会においても同様の方法を採用する予定です。

2 理事の交代について

2025年3月31日をもって、塚本聡氏(日本大学)、松原史典氏(京都女子大学)の2名の理事が任期を満了し退任されます。長きにわたり協会の発展にご尽力頂き、誠に有り難うございました。なお、後任の理事として、縄田裕幸氏(島根大学)、柳朋宏氏(中部大学)が就任されます。任期は、2025年4月1日~2029年3月31日の2期4年です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3 編集委員の交代について

2025年3月31をもちまして、縄田裕幸氏（島根大学）、平井大輔氏（近畿大学）、松沢絵里氏（大阪芸術大学）、村田和穂氏（有明工業高等専門学校）、家口美智子氏（金沢大学）の5名の委員（縄田先生は編集委員長を兼務）が任期満了となります。2期4年間にわたり編集委員会の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

これを受けて、編集委員会では、後任の編集委員として5名を選出し、岡崎正男氏（茨城大学）、船田佐央子氏（福岡大学）、前澤大樹氏（椙山女学園大学）、松原史典氏（京都女子大学）、米倉よう子氏（奈良教育大学）から就任の承諾をいただきました。委員の任期は、2025年4月1日～2029年3月31日の2期4年です。また、新委員長として、金澤俊吾氏（高知県立大学）が選出されました。任期は、2025年4月1日～2027年3月31日の2年間となります。どうぞよろしくお願いたします。

4 『近代英語研究』第41号の発行について

2編の論文、1編の研究ノート、3編の書評のご投稿がありました。ご応募いただきありがとうございました。編集委員会の厳正なる審査結果は次のとおりです。2025年6月の発行を目指して、現在編集作業が進められております。

	論文	研究ノート	書評
掲載可			1
再審査	2		2
掲載不可		1	

5 『近代英語研究』第42号の投稿締め切りについて

第42号（2026年6月発行）投稿締め切りは2025年9月15日（月）となっております。ふるってご応募ください。審査はすべて匿名で行われます。応募要領については、協会ホームページに掲載の最新の「投稿要領」あるいは協会誌第41号（2025年6月発行）に掲載される「投稿規定」をご覧ください。

特に、従来と以下の点が異なっておりますのでご確認ください。

- ・「投稿規定」に定める、総字数の数え方の補足説明の追加および投稿前の留意点の追加
- ・「執筆者情報ファイル」の様式の変更（研究対象分野、研究対象キーワード等の記載欄を追加）

ご投稿の際は、必ず原稿および執筆者情報を論文投稿用メールアドレス（mode.assoc@gmail.com）まで2つの別々の電子ファイルでメール添付にて送付してください。打ち出し原稿のご送付はお控えください。なお、英語論文に関して、英語を母語としない投稿者については投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上でご応募ください。また、他誌への二重投稿はお控えください。

6 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞について

賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類がございます。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に優秀な論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その荣誉が讃えられます。

選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、「原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第2条より）です。選考希望の意思表示のため、論文投稿の際、「執筆者情報ファイル」内の項目3の該当欄に「○」をご記入ください。

なお、次号、第41号分の受賞者の有無は、第42回大会および来夏のニューズレターでお知らせいたします。

7 『近代英語研究』掲載論考の転載（および刊行）許可申請手順について

『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては本協会に属することをご理解いただきたいと存じますが、掲載済み論考を著者の方がご自身の学位論文へ転載を希望される場合、および、その論考が転載された学位論文の刊行を希望される場合もあるかと存じます。そのような場合につきましては、編集幹事宛に所定の許可願をご提出いただくことで、協会から許可書を発行させていただきます。ご希望の方には申請書をお送りいたしますので、編集幹事（菊地・田中）までメール（mode.assoc@gmail.com）にてご連絡をお願いいたします。

8 『近代英語研究』掲載論考の、研究機関（大学等）リポジトリへの登録について

上記の通り、『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては、本協会に属することをご理解いただきたく存じますが、掲載済み論考を著者の方が研究機関（大学等）リポジトリへの登録を希望される場合もあるかと思えます。その場合につきましては、協会誌の発行の1年後から登録を可能とすることになりましたので、登録する前に編集幹事（菊地・田中）まで、ご相談のご連絡をお願いいたします。

9 『近代英語研究』電子アーカイブ化

J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構）に、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。パソコン等でサイトにアクセスすると、創刊号から第32号（2016年）までの論考を、現在ご参照いただけます。近代英語協会ホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「協会出版物」からのリンクが便利です。また、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご理解いただきたく存じます。

なお、第33号（2017年）以降の論考については、現在掲載の準備を行っております。いましばらくお待ちください。

10 ホームページの図書紹介欄について

会員の皆様が出版された文献を本協会のホームページでご紹介いたします。自薦、他薦は問いません（他薦の場合は著者の了承を得てください）。紹介されたい著書（翻訳本も可）のタイトル、表紙の写真、および紹介文（800字程度まで）を添付し、IT管理者（村岡）までメール（muraoka.soichiro@nihon-u.ac.jp）でお送りください。なお、書籍の実物の事務局への送付はお控えください。

11 会費納入のお願い

本年度の大会資料をお届けした本年5月上旬、会員お一人お一人に振込用紙を同封いたしました。どうか、納入漏れのないよう今年度中に請求額全額をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。協会の円滑な運営のため、ご協力ください。なお、3年間未納の場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。会費の支払いについてのお問い合わせは、事務局長（秋葉）までメールにてお尋ね下さい。

12 終身会員制度の導入について

終身会員の申込資格は次の(1)、(2)のいずれかとなります。

- (1) 66歳以上、または当該年度中に66歳になる会員で、過去10年間会費を全納した会員
- (2) 顧問として承認された会員

申請の際には、所定の申請書を提出し、終身会費3万円を払ってください。申請用紙、ならびに払込用紙は事務局長（秋葉）までメールにてご請求ください。申請された年度より年会費は不要となります。終身会員には大会の懇親会に無料で参加できる特典もございます。なお、理事の方は終身会員への申請ができませんのでご了承ください。

13 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先（住所、E メールアドレス等）に変更があった場合は、速やかに事務局長（秋葉）までメールにてお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられたときも、会員種別が「学生会員」から「一般会員」へ変更となりますので、必ずメールにてお知らせください。よろしくお願いいたします。

14 『近代英語協会研究叢書』について

現在、『近代英語協会研究叢書』第1巻（出版社は Peter Lang を予定）は編集・印刷段階にございますが、まだ出版日は決定しておりません。決まり次第ホームページを通してお知らせ致します。また、第2巻に關しましては、来年2月末が原稿締切となっており、開拓社より来年度中の出版を目指しております。

15 メーリングリストの運用について

今年度の理事会において、情報を円滑に共有するため、メーリングリストを運用することが決定されました。このメーリングリストを利用して、本ニューズレターを配信しております。

なお、メーリングリストには、事務局で把握しているメールアドレスを登録いたしました。メールアドレスの変更等がございましたら、事務局長（秋葉）までご連絡ください。

16 ニューズレターのオンライン化について

上記と同様に、ニューズレターのオンライン化が決定されました。本号より、ニューズレターはメーリングリストによる連絡とホームページへの掲載をもって配信させていただきます。

17 事務局より

保坂道雄先生を会長とする新体制が始動してから1年が過ぎ、事務局としても活動の基盤を徐々に整えるべく取り組んでおります。この間、会員の皆様には多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本号より、ニューズレターはオンライン配信を基本とし、メーリングリストおよびホームページでの掲載という形でお届けしております。より円滑な情報提供を目指しての試みでございますが、何かお気づきの点がございましたら、ご遠慮なくお知らせください。

本年度の全面対面開催に続き、来年度もさらなる学術交流の活性化を目指し、会員の皆様にとって意義ある場を提供できるよう、事務局一同尽力してまいります。本年も残すところわずかとなりましたが、これまでのご支援に深く感謝申し上げますとともに、来る年が皆様にとって実り多きものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

事務局長 秋葉倫史

【近代英語協会 連絡先】

- 協会誌について
編集幹事：菊地翔太・田中祐太（五十音順）（編集幹事共通：mode.assoc@gmail.com）
- ホームページについて（会員の出版された図書紹介もお寄せください）
IT管理：村岡宗一郎（muraoka.soichiro@nihon-u.ac.jp）
- その他全般について
事務局長：秋葉倫史（akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp）